

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農 業	野菜	4	3	生物生産科	選択

科目のねらい	温室（土耕・水耕）と野菜圃場を学習の場として、一貫した野菜栽培の実践と経営技術について学ぶ。また、立地条件に適合した野菜栽培に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得させるとともに、積極的に新たな技術を創造する能力と態度を育てる。
使用教材など	教科書：野菜（実教出版）

期	月	時数	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
一学期	4	8	野菜の育苗 ◎育苗管理（果菜類）	○苗管理が適切に、意欲的にできたか。
	5	16	野菜の生育特性と栽培技術 ◎春・夏野菜の栽培管理	○野菜栽培と育苗の重要性について理解できたか。
	6	10	◎収穫・調整・販売の実習	○野菜生産と育苗、野菜の品質について説明できるか。
	7	13	（露地栽培・施設栽培）	○野菜生産と育苗の基本的な知識が身についたか。
二学期	8	8	野菜の栽培と環境管理 ◎葉菜類の管理	○圃場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組んだか。
	9	12	◎果菜類の収穫	○栽培の基本的な知識・技術が理解できたか。
	10	12	◎秋野菜の栽培、ほ場整備	○収穫・調整の仕方、販売方法など説明できるか。
	11	14	◎秋野菜の栽培管理	○栽培の基本的な知識・技術が身についたか。
	12	6	◎収穫物の調整と販売 ◎施設栽培の管理と収穫	
三学期	1	13	これからの野菜経営 ◎野菜生産の経営的特徴 ◎施設管理・整備	○基本的な知識・技術を理解できたか。 ○温室・圃場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組んだか。
時数計	112			

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観 点 の 趣 旨	生産技術と経営について関心を持ち、経営を発展させるために品質の向上へ取り組むことができる。	生産と経営に関する課題について意見を述べ、改善策を指導者と共に話し合うことで深めている。	生産性と品質の向上を図るために、栽培技術の習得に努めている。	野菜の経営について、体系的に理解する。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検（記録簿）	行動の記録 （改善点を見出す意見を評価）	口頭試問による確認 （実技試験）	記述の確認 （ノート） 定期考査

評価項目・学習にあたって・評価点		
① 定期テスト	野菜の栽培に関する基本的な知識が身につく、説明できるなど理解ができています。	40～50点
②課題提出 （プリント等）	実習の記録、プロジェクト学習のまとめ等	10～20点
③実習・出席状況	実習に意欲的に取り組んでいる。仲間と協力して真面目に取り組める。実習内容を理解し、活動できている。	40点